

2026年6月8日

各位

会社名 株式会社ニーズウェル
代表者名 代表取締役社長 松岡 元
(コード番号:3992 東証プライム市場)

2026年9月期第2四半期**機関投資家向け決算説明会及び質疑応答の書き起こし(全文)公開のお知らせ**

株式会社ニーズウェル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 松岡 元)は、2026年5月28日に開催した2026年9月期第2四半期決算説明会及び質疑応答の書き起こし(全文)を公開しましたのでお知らせします。

1. 公開URL

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3992/ir material for fiscal ym/205818/00.pdf>

2. 質疑応答要旨 ※全文は上記URLからご覧ください。

質問 AIによってSIerの需要が減少するリスクはありませんか。

回答 AI活用は、大きくは「お客様の経営革新に貢献するためのAI活用」と、「社内のシステム開発における効率化・生産性向上を目的としたAI活用」の二つに分かれると思います。

一つ目については、生成AIをはじめ、さまざまなケースが考えられるので、それぞれのお客様に適したAI活用方法を検討して提案していくことが必要です。当社は、このコンサルティングサービスやコンサル力の強化を図ります。

二つ目については、AI活用を前提とした新しい開発手法、AI駆動開発の研究開発を進めています。AIを使って、例えばレガシーシステムのリバースエンジニアリングをスピーディーに進める開発の標準化を進めるとともに、AIと人をマネジメントする標準化も進めていきます。

AIの活用によってSIの需要が減少するというよりは、SIerやエンジニアの役割が変わっていくのではないかと考えております。

質問 株主還元についての考え方を教えてください。

回答 当社は引き続き株主優待制度や配当で株主様への還元を考えていきます。AIが浸透し大きく時代が変わる中で、成長投資もしっかり視野に入れて、成長投資と還元のバランスを取る必要があります。安定かつ継続的な還元が大前提になりますので、その方針は変えずに、中期的な企業価値向上を実現して、株主様への還元を着実に進めていきたいと考えています。

質問 SaaSの成長鈍化が見られる中、あえて今、人材投資を強化する戦略意図を教えてください。

回答 AIの進化に伴って、エンジニアの役割は確実に変わりますが、エンジニアが不要になるとは考えておりません。

例えば直近ですと、フォワードデプロイドエンジニアという、現場の中に入り込んで業務の分析や課題の定義をしっかりと行い、それをAIで改善していくエンジニアの役割が重要視されており、そのような新しい立ち位置が確立されていくのではないかと考えております。

確かに単純にプログラムコードを書くというところはAIを使った効率化が図られますが、その前後の要件定義や設計、それを評価・運用するというところに関しては、AIによる効率化と、エンジニアによる判断というところの組み合わせが非常に重要になります。

当社としては、人材の確保とともに、育成教育をしっかり推進していくことで、エンジニアの立ち位置を確立していきたいと考えています。

3. 株式会社ニーズウェルについて

金融系システム開発力を事業基盤に、AI、DXソリューション提供力を強みとするニーズウェルは、コンサルティングから設計・開発、インフラ構築、運用・保守に至るまでを一貫して担い、企業の業務効率化やDX推進を支える総合ITパートナーとして成長を続けています。

AI駆動型開発の研究開発や、自治体向けDXの推進にも着手するなど、AI時代を先導するソリューションプロバイダへの転換を目指す取り組みを積極的に推進しています。

4. 会社概要

社名	株式会社ニーズウェル	https://www.needswell.com/
本社所在地:	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 13 階	
代表者:	代表取締役社長 松岡 元	設立: 1986年10月
社員数(連結):	597名 (2025年9月末日)	資本金: 9億8百万円(2025年9月末日)
事業内容:	ソフトウェアの開発・運用・保守、ソリューション製品の開発・販売・運用・保守	
お問い合わせ:	ニュースリリースについて	経営企画部
	TEL:050-5357-8346(直)	E-mail: ir-contact@needswell.com
報道関係資料:	IR ニュース	https://www.needswell.com/ir/news
	その他のお知らせ	https://www.needswell.com/news/index

以上